

## 令和3年度 第3回学校運営協議会議事録概要

日時 令和4年1月31日(月) 15:30~17:00

場所 オンラインによる開催

### 1. 開会のあいさつ

本校と鳳高校との高校連携事業を行った。車椅子生徒が鳳高校に入学したことから本校機械系生徒と教員でスロープの設計などを行った。

### 2. 学校経営計画などについて振り返り

#### (1) 本年度の取り組み内容及び自己評価

- ・朝学や各授業での内容向上に取り組んでいきたい。
- ・今年度においては喫煙や暴力などは減少した。
- ・学校行事がコロナ下の影響もあり上手く進まなかったことが原因と考える。文化祭は2日ではなく1日になったことや体育祭は学年ごとになったことなど。
- ・4月当初の出足のオリエンテーリングから加入にあまりつながっていない。
- ・授業理解の項目に関しては、保護者に関して達成できず。オンライン授業やグループクラスルームについてなど、保護者に伝わるようやっていきたい。

#### 意見・質問

- ・課外活動の参加率が上がらないことに関して、コロナ下が影響していることなどはないのか？
- ・基礎学力向上の保護者生徒教員の教員の評価がかなり低い、ストイックにこだわった結果ならいいが、ゴールをもう一度考えてもいいのでは。
- ・遅刻件数に関して苦労されているが、よく遅刻する生徒がいると思うので、全体の件数よりよく遅刻する生徒の数を減らすなどの指標にしてもよいのでは？
- ・人権教育の項目でいじめ等の件数0は素晴らしい。コロナ下でいじめにあいそうな事象が出てきそうなのでこの辺りに注力して0を続けていただきたい。
- ・遅刻者で公共交通機関を利用する生徒が感染への恐れを理由にオンラインを求める生徒が出てくることも考えられる。
- ・会議で教員の方々の不満が出ているようだが、楽しく働ける状況が良いと思う。この数値が気になる。教員はスーパーマンでは無いので教員の気持ちも考慮したうえで数値なども考えては。

#### (2) 次年度の計画に関して

- ・全職員で基本的な生活習慣の向上と定着を図り～の文言に関しては先ほどの提言をもとに再検討させていただく。
- ・アクティブラーニングの項目があるが、コロナ下の問題もあるので、生徒が話し合う形だけをアクティブラーニングと考えず、教員からの問いかけに答えてもらうという形でのアクティブラーニングも考えていく。

・ICT を活用した教育を推進することに関して、フリーソフトなどを活用して生徒が体感できる授業を行うなど現在も取り組んでいるが、より深めていきたい。教員の負担になるかという点に関しては、若い先生だけではなくキャリアのある先生も楽しみながらやっている。

(3) 本年度の取組内容及び自己評価

・資格取得者のべ 850 人を目指すことについて、資格を取っていない生徒を 0 にするよう底上げしていけば達成できるのではと考える。

意見・質問

・1次での合格率を上げようという目標は良い目標だと思っていたので、全員合格かつ1次という目標にもしてよいのでは。

・アクティブラーニングに関してはオンラインでも行えることはある。

・ジュニアマイスターに関しては、ゴールドが何名といった、量ではなく質の指標を作ってもよいのでは。

協議

お題

「就職の生徒の進路保証について、基礎学力やコミュニケーション能力を育成していきたいが、どのような指導を行うと効果的であったりするか」

・生徒さんは就職した先輩から話を聞く機会というのは設けられているのか？

・遅刻数と合格率は比例しているのかな？というように見える。その点が気になる。

・生徒さんからの実体験を話していただけるというのは良いと思う。

・1次で合格している生徒は正社員で合格していると思うが、アルバイトしているから仕事ができるんだと勘違いしている生徒が多いように感じるので、アルバイトと正社員での責任の重さの違いについて生徒に教えておいてあげた方がよいのでは。

・身近な人から話を聞くというのは非常に伝わりやすいので行うべき。

・自分の娘も就職の経験を進路にプリントで伝えることはしているので、来年度受けられる方の役に立つのでは。

・早い目の6月などに先輩からの話を聞く機会などがあればよりよい進路指導になる。

・2年生の1月などにあってもよい。

・就職基礎能力育成ということでは会社に能力があるか見てもらうことが大事。やはり資格をきっちり取り、就職に行くことが大事。自身も持てるので、進みたいところを決めた上でそこに必要な資格をより高いレベルでとることが大事。

・卒業生や就職を決めた在校生からの話というのがやはり大事。

・中学校でも卒業生からの話を聞く機会を設けており、とてもいい体験となっている。

・今出向いて話をするという事は難しくなっているが、オンラインツールを使って工夫すればできることはあるのでは。